

鉄鋼面

公共仕様No.
DNT-新設・4-2-18

18章4節:合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) タイコーペイントフォースター

使用材料一覧表

| | 規格 一般名称 | 商品名 | ホルムアルデヒド 放散等級 | 希釈剤 |
|---|-----------------------------------|----------------|------------------|---------|
| 1 | JIS K 5674 1種 鉛・クロムフリーさび止めペイント | グリーンズボイド速乾下塗 | F☆☆☆☆ | 塗料用シンナー |
| 2 | JIS K 5516 1種 合成樹脂調合ペイント | タイコーペイントフォースター | F☆☆☆☆ | 塗料用シンナー |

塗装仕様

表18.2.2 鉄鋼面の素地ごしらえ【B種】

| 工程 | 塗料その他 | 面の処理 | 備考 |
|----|-------|------------|--------------|
| 1 | — | 溶剤ぶき | — |
| 2 | — | ブラスト法により除去 | 放置せず次の工程に移る。 |

(注) A種及びB種は製作工場で行うものとする。

表18.3.3 鉄鋼面錆止め塗料塗り【A種】

| 工程 | 商品名 | 色相 | 混合比率 (重量比) | 希釈率(%) (重量比) | 塗装方法 | 標準膜厚 (μm) | 塗装間隔 (20°C) |
|----|---------------------|---------------------------|---------------|-----------------|----------|---|----------------|
| | | | | | | 塗付け量 ($\text{kg}/\text{m}^2/\text{回}$) | |
| 1 | 錆止め塗料塗り (下塗り1回目) | 赤さび色 さび色 グレー 淡彩色 | — | 0~5 | 刷毛 | 30 | 8時間以上 6ヶ月以内 |
| | | | | | エアレススプレー | 0.10 | |
| 2 | 研磨紙ざり | 研磨紙P120~220 | | | | | 清掃後 |
| 3 | 錆止め塗料塗り (下塗り2回目) | 赤さび色 さび色 グレー 淡彩色 | — | 0~5 | 刷毛 | 30 | 8時間以上 6ヶ月以内 |
| | | | | | エアレススプレー | 0.10 | |

(注) 素地ごしらえの種別は、塗り工法その他の欄による。

表18.4.2 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗り【B種】

| 工程 | 商品名 | 色相 | 混合比率 (重量比) | 希釈率(%) (重量比) | 塗装方法 | 塗付け量 ($\text{kg}/\text{m}^2/\text{回}$) | 塗装間隔 (20°C) |
|----|-----|--------------------|---------------|-----------------|------|---|-----------------|
| 1 | 中塗り | タイコーペイント フォースター | 各色 | — | 刷毛 | 0.09 | 12時間以上 1ヶ月以内 |
| | | | | | ローラー | | |
| 2 | 上塗り | タイコーペイント フォースター | 各色 | — | 刷毛 | 0.08 | — |
| | | | | | ローラー | | |
| | | | | | スプレー | | |

(注) 錆止め塗料塗りの種別は、塗料その他の欄による。

18.2.3 鉄鋼面の素地ごしらえ

鉄鋼面の素地ごしらえは表18.2.2により、種別は特記による。特記がなければ、C種とする。

18.3.3 錆止め塗料塗り

(a)鉄鋼面錆止め塗料塗りは表18.3.3により、種別は特記による。特記がなければ、見え掛り部分はA種とし、見え隠れ部分はB種とする。

(b)鉄骨等鉄鋼面の錆止め塗料塗り工法は、次による。

(1)1回目の錆止め塗料塗りは、製作工場において組立後に行う。ただし、組立後塗装困難となる部分は、組立前に錆止め塗料を2回塗る。

(2)2回目の錆止め塗料塗りは、工事現場において建方及び接合完了後、汚れ及び付着物を除去して行う。

なお、塗装に先立ち、接合部の未塗装部分及び損傷部分は、汚れ、付着物、スパッター等を除去し補修塗りをを行い、乾燥後、2回目を行う。

18.4.4 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗り

鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗りは表18.4.2により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。

注意事項

* 上記塗付け量は国土交通省「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版に掲載されている数値です。

そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。

* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。